



TITLE:

## 諸外国の研究所図書室(II)

AUTHOR(S):

占部, 実

---

CITATION:

占部, 実. 諸外国の研究所図書室(II). 静脩 1968, 4(6): 2-3

ISSUE DATE:

1968-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36436>

RIGHT:

## 諸外国の研究所図書室(Ⅱ)

占 部 実

前回はアメリカの二つの研究所について述べたので、今回はヨーロッパ諸国の研究所について述べてみよう。

ヨーロッパで私が勤務したのは、英国の Teddington (London の郊外) にある National Physical Laboratory (略して NPL) であった。この研究所は英王室が Newton の功績をたたえてつくった研究所で、現在は国立研究所になっている。所内には Newton が万有引力の法則をそれから発見したといわれている低い林檎の木が立っている。イギリス人の所員から聞いた話では、これはしかし眉唾ものだ、ということであった。この研究所は巨大な研究所で、現在は各種の部門をもっている。1964年 MRC の勤務が終ってから、私はこの研究所の数学部門に勤務したが、ここは英国の電子計算機の開発をやっているところで、所員は数値計算の専門家ばかりであった。所員はほとんど専任で、私が勤務したとき客員所員は私だけであった。ここでの研究は実際の計算方法の研究で、この点ヨーロッパ大陸諸国とは大分様子が違っていた。

この数学部門は一つの図書室をもっていたが、研究の分野が数値計算であるので、蔵書もその方面のものが主であった。しかし数値計算に関する限り、単行本、雑誌類は、共産圏諸国のものまで含めてほとんど洩れなく集められており、これには全く感心した。

NPL にいた学者でアメリカに渡った人が多く、現在の所員等にもこれらの人々からの勧誘がつねにあるようで、お茶のときにはよくこのことが話題にのぼった。頭脳流出はまさに世界的現象ということである。

最後に、私が訪問した共産圏諸国の研究所について図書室の模様を簡単に述べておこう。

ソ連のキエフにあるウクライナ科学アカデミーは、1961年非線形振動の国際学会がそこで開かれたので、訪問する機会を得た。ソ連では、共産圏諸国のものは言うまでもなく、西欧諸国のものも中央機関を通してどしどしはいつているので、図書の蒐集に関する限り、おそらく世界中で最も有利な立場にあるのではなかろうかと思われる。ウクライナ科学アカデミーの図書室では、欲しい書物をたくさん見かけたが、いずれもすでに絶版で、何とも手のほどこしようがなかった。

1964年 NPL の勤務が終ってから、友人を訪ねながら、私はブラハ、ワルシャワ、クラクフ、ブカレストの科学アカデミーを訪問した。これらの科学アカデミーはソ連のそれとは違って規模も小さく、所員は大抵所在地の大学に兼務していて、図書室も科学アカデミー自身のものでそう大きくはなかった。建物の関係もあってか、所員の各研究室に図書がならべてあるところも少くなかった。もちろん、大学の図書館は相当の蔵書を持ち、みな堂々としていた。ブカレストの大学では、教室の入口のところに、教授の学位論文やその著書が陳列してあった。学位論文はほとんどフランス、イタリア、ドイツあるいはソ連で提出されたものであったが、いずれにせよ論文や著書が陳列してあっては、教授はのんびりしているわけにはゆかないだろうし、学生に対してはまたこの上ない励みになるであろうし、ともかくきわめて面白いことであると思った。

私は現在、共同利用の数理解析研究所に勤務しているが、静脩第4巻第4号に福原所長が述べておられる通り、共同利用研究所としての私達の図書室の任務はまことに重大である。蒐集計画は全国的視野に立って行なうべきであるし、また全国の大学図書館相互連絡の要として情報センターの役目も果さなければならない。海外勤務の体験から得たものを生かして、私は微力ながら図書室の発展に寄与してゆきたく思っている。(数理解析研究所教授)

## 資料紹介

### ○ 教官文庫(1月15日以後3月までの御寄贈分)

「日本政治・外交史資料選」猪木正道(法学部教授)編 有信堂 昭42刊 354p.

「家族法関係判例研究文献目録」追録(3) 太田武男(人文科学研究所助教授)編 昭42刊 72p.

「毎木調査における工期と作業形態および疲労との関係」佐野宗一(農学部・同附属演習林教授)著 財団法人阪本奨学会 昭42刊 97p.

「低開発国経済論」松井 清(経済学部教授)著 有信堂 昭42刊 254p.

「禅院の建築」川上 貢(工学部教授)著 河原書店 昭和43刊 269p.

「桑原武夫紀行文集 第1巻: フランス, アメリカ, 日本」桑原武夫(名誉教授・人文研)著 河出書房 昭43刊 377p.

「思想史と現代」河野健二(教養部教授)著 ミネルヴァ書房 昭43刊 234p.

記事訂正: 前号記載中「社会人のための応用経済学」馬場正雄(経済学部教授)とあったのは、(経済研究所教授)の誤りでしたので、ここにお詫びして訂正いたします。

### ○ American Men of Science : a biographical directory. Edited by The Jaques Cattell Press. 10th ed. 5 vols. N. Y., 1960-'62. (現代アメリカ合衆国科学者総覧)

これはアメリカ合衆国およびカナダにおいて現在活躍中の新鋭科学者約120,000名を収録した人名録である。

内容的に

v. 1~4 : The physical and biological sciences. (A-E ; F-K ; L-R ; S-Z)

v. 5 : The social and behavioral sciences. (A-Z)

の2つに分れ、前者は物理学、生化学、化学薬学、医学、微生物学、遺伝学、植物学、農学、森林学、畜産学、数学、工学、冶金学、地質学、天文学などの、所謂自然科学者を、後者は経済学、社会学、法律学、統計学、心理学、地理学、人類学の各分野における専門学者を網羅している。

いずれも人名によるアルファベット順に配列され、出生地、出生年月、専門研究分野、学位、地位、前任地位、会員資格、住所などが詳細に記述されている。

なお、現在本館は新しい第11版のうち、v. 2~5 : D-Sr (The physical and biological sciences) '65~'67 の4冊も持っている。第6巻は今年の12月に出版の予定であり、The social and behavioral sciences も完成すると約150,000名の科学者が収録されるはずである。